

介護地獄は もうごめん!!

介護に希望と笑顔を!! part2

—介護現場はどうなった？

介護現場の検証と

これからを考えるシンポジウム—

(2010 経済学部地域研修事業)



川村雅則（北海学園大学経済学部）

○私たちは 2008 年に特別養護老人ホームで働く介護労働者そして施設長を対象に調査を行ないました。

○24 時間 365 日、利用者の生活・尊厳を支える介護という仕事の重要さとは裏腹に、人手不足による過酷な労働、低賃金・処遇、非正規職員への置き換え、それらを背景とした高い離職率、さらにそのことにもなう負担増という悪循環、、後ろ髪ひかれる思いで職場を去って行かざるを得ない彼ら介護労働者の労働実態を明らかにしました。

○さて、そんな中で、介護労働者の処遇改善を目的に、2009 年には介護報酬がはじめて増額改定され、また介護職員処遇改善交付金制度が期間限定ながらも創設されました。これで介護現場も一息ついた、そう思われている市民の方々も多いのではないのでしょうか。

○しかしながら、これらの措置も、圧倒的な人手不足・重労働・低賃金を改善するには程遠く、また、手厚いケアが求められ医療行為を必要とする利用者が増えるなど、現場の負担は以前よりも増しているのではないかと、、そんな状況が、私たちゼミナールが 2010 年に行なった調査で浮き彫りになってきました。

○そこでこのたびは、2008 年に引き続き、介護の実態を共有すると同時に、真の意味で、介護の社会化を実現させ、持続可能な介護の構築のために何が必要なのか、みなで考える機会をもちたいと思います。参加費も参加申し込みも不要です。みなさまのご参加をお待ちしております。

○なお当日は、2010 年調査の結果報告をゼミ生が行ない、その後に、本調査（地域研修事業）の協力団体である「札幌地域労組」関係者からの現場の実態報告を受け、ディスカッションを予定しています。

とき 12月3日（金）10時40分～12時10分

場所 北海学園大学 7号館 30番教室

報告（仮題） 「介護現場はどうなった？」川村雅則ゼミ生

「変わらぬ介護現場、疲弊する介護労働者」

社会福祉法人 愛和福祉会 職員・札幌地域労組委員長 原田優子さん

連絡先 川村雅則研究室 011-841-1161 (2744) / masanori@econ.hokkai-s-u.ac.jp